

# 立願湫のお膳

むかし、滝戸村の名主の家で婚礼こんれいがありました。

ところが百人前の膳碗ぜんわんがどうしても整ととのいません。

困った名主は、下男げなんに探さがしてくるようにつけました。

下男げなんは毎日あたりの村々さがを探し回りましたが、どうしても見つかりません。下男げなんは、疲れきって立願湫りゅうじんの岩の上にしゃがみこんで、「やれやれ、婚礼こんれいは明日だというのに膳碗ぜんわんが見つからない」とひとりごとをいながらこまっていました。

すると「これこれ、そこで何をしているのか」という声がしました。

うしろを見ると、白いひげのおじいさんが、岩の上に立っていました。

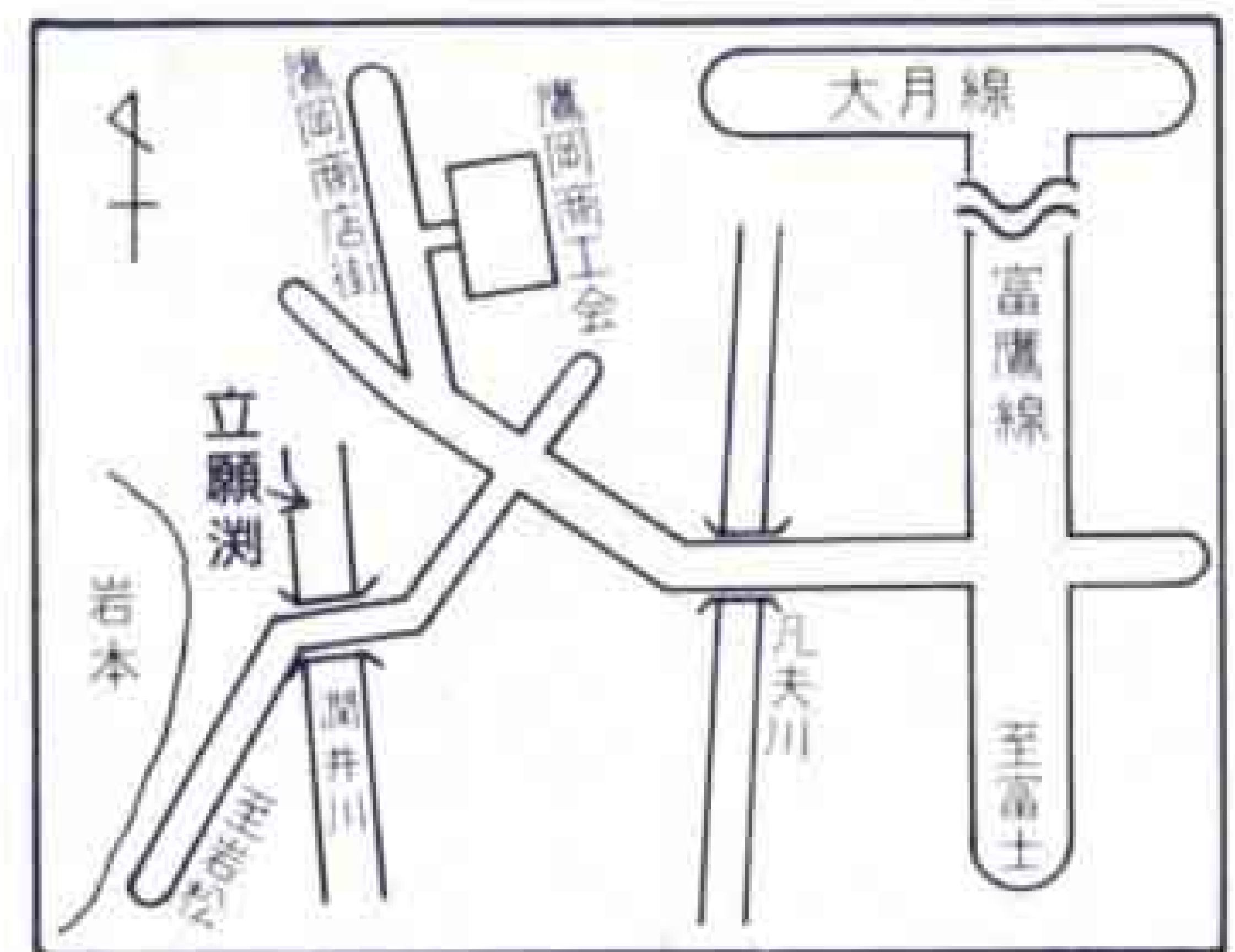
「明日の婚礼こんれいに使う百人前の膳碗ぜんわんがなくて、困っています。」とい

うと、おじいさんは「そうか、では明日の朝早く、この岩の上に立って願ねがいごとをいえ。わしは、この湫ふちの竜神りゅうじんじゃ」といったかと思うと、スッーと消えてしまいました。

下男げなんは、つぎの日の朝、岩の上に立って、「竜神りゅうじんさま、どうか百人前の膳ぜんと碗わんを貸してください。」といました。すると不思議なことに、水の上にプカプカと百人前の膳ぜんと碗わんが浮いてきました。下男げなんが運んできたのを見て、名主はびっくりしました。その明日、膳ぜんをていねいにふき、お礼れいをいって湫ふちの中に返しました。

それからは、村の人たちも借りるようになりました。

ある年、隣村となりむらの名主の家で法事ほうじがあり、やはり竜神りゅうじんさまから百人前の膳碗ぜんわんを借りました。ところが返すと



きになって数えてみると、どうしたのか膳ぜんが一個たりません。

「一つくらい、たりなくても、わからないだろう。」と思って、だまって湫ふちの中へ返しました。

それからのち、ほかの者が「竜神りゅうじんさま、膳碗ぜんわんをかしてください。」といくら願ねがいごとをいっても、貸してくれませんでした。

## アユやヤマメが釣れた



植田義次さん  
(83歳・久沢南)

滝戸という地名は、滝の下が戸ぶくろのようになっていたので、ついた地名だと思う。

むかし、この立願湫は水が豊富でアユやヤマメがたくさん釣れた。

水が豊富だということで、明治21年、入山瀬に富士製紙第一工場ができたんだよ。



## 表紙のことは

お年寄りの憩いの場として、市社会福祉センター・田子浦荘が完成し、3月28日落成式が行われました。

田子浦荘は、広見町にある福祉センターに次ぐ2番目の施設で、大広間、和室、健康相談室、売店、風呂などが備えられています。

また、付属施設として、25℃プールと幼児用のプールもあります。

「近くにこんなに立派な施設ができたので今後、大いに利用させてもらいます」とお年寄りは大よろこびでした。

## 記事訂正とお詫び

3月25日発行の「広報ふじ」の4ページ中、55年度当初予算成立の見出しの中で、総額457億9,200万円は、あやまりにつき、457億4,200万円に訂正してお詫びいたします。

市の行事やお知らせは

ダイヤル市政案内で ☎52-1111